

【最近のこれはお見事!】『地獄でなぜ悪い!』しかし、やっぱり地獄は嫌だよな。

# シネマズライフ

【最近のこれはまずいぞ!】『マン・オブ・スティール』

要するに『スーパーマン』の前日談。原題も(MAN OF STEEL)で、アメリカでも期待通りの客は入らなかったようだが、確かにアメリカでも期待通りの客は入らなかったようだ。

貴樹 諒

2013年9月20日発行 第47号 <http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

## 映画の風景 日本の風景

※ 広島・厳島神社 ※



今も静かに参拝者を迎える 厳島神社→

昔、『黒い雨』という映画があった。こ

んな映画だ。終戦後の昭和25年、広島の小さな村で暮らす高丸矢須子に縁談が持ち上がった。しかし、育ての親の関根重裕は一抹の不安を覚えた。

実は、美しく気立てのいい矢須子には次々と縁談が持ち込まれていたが、「ヒカ(原爆)に合った娘」として破談になっていた。しかし、矢須子は直接「被ばく」した訳ではなく、疎開先から船で村へ帰る時に「黒い雨」を浴びただけだったが、その話は信じてもらえない。そこで今回の話をまとめた重裕は、矢須子の日記を調査したり、健康診断を受けさせたりして、誤解を解く事に奔走した。

やがて、矢須子の体に変調が現れる…

広島県の厳島神社は、被爆地からは離れていて被害はほとんどなかったようだ。しかし、周辺ではきのこ毒は見えたそう。厳島神社でも見えていたのではないのだろうか。今でも、夜の厳島神社は美しい。多くの被害者達への鎮魂歌が聞こえてくるような気がするのだ。

一方、重裕の周辺にはやはり、戦争に翻弄された人達がいて、バスのエンジン音で錯乱する男、日々原爆症の発症に怯える幼馴染の庄吉、好太郎は重裕と共に病に効くところを養殖して

『黒い雨』 1989年 日本 監督 脚本：今村昌平 脚本：石堂淑朗 原作：井伏鱒二 出演：田中好子 北村和夫 市原悦子 三木のり平 小沢昭一

《放射能》の恐ろしさを実感させてくれる俳優達の静かな演技は迫力がある。現代でも《放射能》の危険に晒されている人類の煩惱はいつ無くなるのだろうか？

コラム  
染物か車物か!  
なんて誰にも  
わからなかったりする。  
前編

ここに有名な絵が二枚ある。

フランス(ルーヴル美術館)にあるレオナルド・ダ・ヴィンチの『岩窟の聖母』。しかし、もう一枚イギリス・ロンドンの「ナショナル・ギャラリー」にもレオナルド・ダ・ヴィンチの『岩窟の聖母』が存在する。ダ・ヴィンチは、芸術界でも有名な偏屈親父。それ故かこの二枚の絵には奇妙な話がある。

ダ・ヴィンチが、一四八三年五月・ミラノにある教会から礼拝堂の祭壇画を頼まれた。当時は他の絵画と込みで、ダ・ヴィンチは弟子のアンブロジーオ・エヴァンジェリスタのデ・プレデイス兄弟と



ルーヴル美術館版 ↑



ナショナル・ギャラリー版 →

共に製作を依頼された。しかし、納入期限がその年の一月。製作期間は八か月だ。しかも、支払はその一月で納入され終了するはずだったが、何故か教会は手付金一〇〇リラと一四八三年から一四八五年まで月割で、合計八〇〇リラ支払われた。ところが五年後、一四九〇年から一四九五年にかけてダ・ヴィンチと弟子のプレデイス兄弟が八〇〇リラは祭壇画のみという事で他の絵画の代金の請求をして、話が揉めた。 (Wikipediaより) 以下次号。

★【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。



on air !



CS・BS放送のオススメ映画を紹介！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もみます。(m) (m)

『SUPER8/スーパーエイト』

ザ・シネマ

2011年 アメリカ

監督・脚本・製作：J・J・エイブラムス

製作：スティーヴン・スピルバーグ プライアン・パーク

出演：ジョエル・コートニー エル・ファニング ライリー・グリフィス  
ライアン・リー ガブリエル・バツォ サック・ミルズ

9月22日(木)17:00 9月25日(木)13:00  
9月25日(水)21:00

1979年のオハイオ州。映画マニアのジョー・ラムは友人達とスーパー8mmカメラで映画を制作する事にする。ジョーが憧れるアリスも撮影に加わり、近くの駅で夜中に撮影が始まる。ところが、撮影中に米軍の貨物列車が事故を起こし、撮影は中止。実は列車には学校の教師・ウッドワードがぶつかった事で事故。瀕死の彼は「ここで見た事は決して口外するな」といい、彼らを追い返す。驚いて逃げ出すジョーだったが、残った「スーパー8」の空箱から軍は「そこにいた人間」を探し始める…。

一方、その事件が起こってから町は、行方不明者が出たり、停電が相次いだり異変が相次ぐが、軍は真相を明かそうとしない。やがて、ジョー達は事故の時の撮影したフィルムを現像して驚愕する…。

万年映画青年・スティーヴン・スピルバーグとJ・J・エイブラムスのノスタルジックが満載の映画。青春は美しい！宇宙人には親切に！

『ハムナプトラ 失われた砂漠の都』

IMAGICA BS

1999年 アメリカ

監督・脚本：スティーヴン・ソーマズ

出演：ブレンダン・フレイザー レイチェル・ワイズ ジョン・ハンナ  
アーノルド・ヴォスルー パトリシア・ペラスケス

9月23日(月)10:15 10月6日(日)21:00

古代エジプト・新王朝時代。大神官イムホテップは、王の愛妾・アナクスナムンと禁断の愛に溺れていた。ある日、ついに二人の関係が王にばれてしまい、アナクスナムンは自害。イムホテップは、アナクスナムンを甦らせようとしている所を捕えられ、最も残酷と言われる「ホムダイ」の刑に処せられる。そして、三千年の時が流れ…。

外国人部隊にいたリック・オコーネルは、部下に裏切られエジプトの砂漠を放浪の末、カイロ刑務所で死刑寸前だった。しかし、リックは、女性考古学者のエヴリンに助けられる。彼がはるか昔の都・ハムナプトラの場所を知っていると聞きつけたからだ。リックと共にハムナプトラに向かう一行だったが、同じハムナプトラに向かうグループがもう一つあった。競い合いあう二組だったが、やがて船が謎の集団に襲われる…。

多くの映画の中でも、これだけウジャウジャとミイラが走り回った映画は初めてだろう。ゾンビじゃない所がミソかな。

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしかったら「コメント」で感想・お叱りお聞かせください。

1969年イタリア・西ドイツ  
監督・脚本・原案  
：ルキノ・ヴィスコンティ

『地獄に堕ちた勇者ども』

出演：イングリッド・チユーリン  
ヘルムート・バーガー  
ターフ・ボガード

33年9月のドイツ。権力を握ったヒットラーと協力する為、鉄鋼王として有名なエッセンベック家の当主のヨアヒムは苦慮していた。姪の夫で反ナチのヘルベルトを排除しなければならなかったからだ。そして、ヨアヒムの誕生日パーティーの日、国会議事堂放火事件が起こり、ナチス共産主義者が義勇兵と断絶し、ヘルベルトを逮捕する為、エッセンベック家へ押しかける。その混乱の中、当主のヨアヒムは殺され、それを海外に逃げたヘルベルトが犯人とされる。実は、ヨアヒムを殺したのは、ヨアヒムの子息の未亡人ソフィの恋人・エッセンベック家の支配人のフリードリッヒだ。



しかけたのはナチ親衛隊の幹部アシンバッハで彼はヨアヒムの遠縁で、エッセンベック家へ入り込み、鉄鋼事業をナチスに有利にするように画策していたのだ。

一方、ソフィにはマーチンという息子がおり、彼は娼婦の家に家に入り浸りながら幼女にも興味を示すような男だが、アシンバッハは彼も利用しようとしていた…。やがて、ナチスの長いナイフの夜突撃隊員(チキス党)の私兵部隊が、親衛隊(ヒトラーを護衛する党内組織)に虐殺された事件が起こり、エッセンベック家の混乱はますます加速される…。

ルキノ・ヴィスコンティ監督が、醜悪な人間の欲望を利用され、ナチスに翻弄される人々を描く。人間は誰しもこの醜悪さが隠れているかと思ふと恐ろしい。

☆発行は第一・三金曜日です。次回発行は10月4日発行です。

【編集後記】  
☆急に涼しくなってきた今日この頃。しかし、昼間はまた暑い！まだ、二つ三つ台風がこないかと本格的な秋は来ないのかな？

☆そこで一句。  
台風は秋に近づいて  
災害に遭つた  
反を哀する  
皆様お体にも気をつけてください。(し) (し)



シネマズライフ 47号

● 発行人：貴樹諒音 ●

発行日：2013年9月20日

cinemaz-life@movie.nifty.jp

告知ブログ

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

